

2025年12月17日

株式会社Speee

Speee、不動産売買の査定書作成システム「ツナガルオンライン査定」を本格提供開始。導入急増を受け、全国の不動産会社へ販路拡大

～ 最大180分かかっていた査定書作成時間を最短1分(*)に。
AI活用で不動産会社の生産性向上を支援～

株式会社Speee（本社：東京都港区、代表取締役：大塚英樹、東証スタンダード：4499）は、不動産売買仲介会社（以下「不動産会社」）に向けて、AIを活用した不動産売買の査定書作成システム「ツナガルオンライン査定」の本格提供を開始し、本日より新規導入に向けたサービスサイトを公開いたしました。

本サービスは2023年6月より一部クライアントへ先行して提供を開始しました。従来120分～180分を要していた査定書作成業務を約5分～10分へと劇的に短縮できる点が高く評価され、業務効率化を目指す不動産会社様より多くの引き合いをいただき、導入数が急拡大しております。この実績を受け、人手不足や長時間労働が課題となる不動産業界の生産性向上を支援すべく、このたび販路拡大を本格化いたします。

(*) 従来120～180分要していた作業時間を最短1分、平均5～10分に短縮（自社調べ）



■背景：これまでの課題

不動産の査定価格は、物件ごとに建物情報（築年数や平米数など）に加え、土地情報（駅距離・用途地域など）によって価格が大きく変動します。不動産会社は、こうした膨大な項目を調査し、周辺事例と比較しながら適正な査定価格を算出する必要があり、査定書の作成には多大な時間を要していました。

また、属人的な算出になりがちなことから、売主としても不動産価格が不明瞭であるという課題もありました。

これらの課題を解決するため、ツナガルオンライン査定は、AI技術を活用し、査定業務の「劇的な効率化」と「価格根拠の透明化」を同時に実現しました。

■特徴・サービスの紹介

ツナガルオンライン査定は物件概要を入力するだけで、AI価格査定エンジンが不動産データから類似事例を抽出し、査定価格の算出を自動化します。

1. 査定書作成時間を最短約1分に短縮

従来、調査から作成まで120～180分かかっていた業務を、平均5～10分で完結させることが可能です。ハザードマップ・周辺施設・地域の相場などの必須情報も自動で添付されるため、情報量の担保された高品質な査定書をスピーディーに発行できます。

2. 納得感のある「根拠提示」を可能に

AIが抽出した類似事例に基づいたロジックが記載されるため、担当者の経験則に依存せず、売主に対して納得感のある説明が可能になります。

3. 誰でも使いこなせる操作性とカスタマイズ性

PC操作が苦手な方でも直感的に利用できるUIを採用しており、エリア特性を踏まえた正確な査定が困難だった地域でも多くの導入実績があります。また、各社の強みに合わせた査定書のカスタマイズも可能です。

これにより、大手企業がコストをかけて作成していた高品質な査定書を、少数精鋭の不動産会社でも作成可能とし、削減した時間を顧客折衝などのコア業務に充てることで、各社の競争力強化を支援します。

■今後の展開

Speeeは、不動産業界やその周辺領域をテクノロジーで変革し、既存のバリューチェーンをアップデートしてまいります。不動産会社、売主をはじめとするエンドユーザーの双方にとって、よりスマートで透明性の高い売却体験の実現を目指します。

■ サービス概要

サービス名：ツナガルオンライン査定

提 供 形 態：SaaS（クラウドアプリ）

主 な 機 能：AI査定書作成ツール

U R L：<https://tsunagaru-online.jp/lp/satei/>

■ 株式会社Speeeについて

Speeeは、「解き尽くす。未来を引きよせる。」というコーポレートミッションのもと、データドリブンな事業開発の連鎖でデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する企業です。金融DX事業、レガシー産業DX事業、DXコンサルティング事業など幅広い領域に展開しています。

【会社概要】

社 名：株式会社Speee

事 業 概 要：金融DX事業、レガシー産業DX事業、DXコンサルティング事業

設 立：2007年11月

所 在 地：東京都港区六本木三丁目2番1号

代 表 者：代表取締役 大塚 英樹

証券コード：4499（東証スタンダード市場）

U R L：<https://speee.jp/>

＊ 本資料に記載されている会社名、商品名、サービス名は、各社の商標又は登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社Speee IR担当：ir@speee.jp